

議案第98号  
令和3年度宝塚市水道事業会計決算認定について

資料2 主な項目の増減理由

1 業務量

	項目	前年度増減	主な増減理由
①	年間有収水量	△ 330,078 m <sup>3</sup>	前年から1.4%減少しており、給水人口の減少率0.5%以上に減少しています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により在宅勤務や手洗いうがい等が増加し、一般家庭用の使用水量が増加しましたが、令和3年度はそれらが落ち着いたため、一般家庭用の使用水量が減少したと考えています。

2 収益的収入及び支出

	項目	前年度増減	主な増減理由
①	収益 営業収益 給水収益	410,258 千円	令和2年度に新型コロナウイルス感染症拡大による水道基本料金の減免(445,336千円)を実施したため、令和3年度は前年比で増加しています。減免がなかったと仮定した場合は前年比35,078千円の減少です。
②	収益 営業外収益 その他	△ 216,356 千円	令和2年度に新型コロナウイルス感染症拡大による水道基本料金の減免に対して、一般会計からの繰入金208,801千円を受け取ったため、令和3年度は前年比で大きく減少しています。
③	収益 特別利益	181,334 千円	特別利益のうち182,702千円は、新庁舎整備に伴い局所有の土地2763.33m <sup>2</sup> を宝塚市に売却したことによる売却益です。
④	費用 営業費用 人件費	45,878 千円	増加額のうち40,494千円は退職給付引当金繰入額です。年齢の高い職員が異動してきたことにより、引当金を多く積む必要が生じたため、前年比で増加しています。
⑤	費用 営業費用 物件費等	38,939 千円	令和2年1月から仮設庁舎の賃借料を支払っており、令和2年度は3カ月分、令和3年度は12カ月分を計上しています。賃借料は前年比で52,889千円増加しています。
⑥	費用 営業費用 受水費	186,393 千円	令和2年度に、新型コロナウイルス感染症拡大による水道基本料金の減免にあたって、兵庫県営水道受水費の3カ月間の減免193,955千円を受けたため、令和3年度は前年比で大きく増加しています。
⑦	当年度純利益	△ 42,762 千円	令和元年度から3年連続で純損失が生じており、令和4年度以降も毎年度3億円前後の純損失が生じる見込です。

3 資本的収入及び支出

	項目	前年度増減	主な増減理由
①	収入 固定資産売却代金	296,683 千円	局所有の土地2763.33m <sup>2</sup> を宝塚市に売却したことによる土地の簿価を計上しています。

4 給水原価と供給単価

	項目	前年度増減	主な増減理由
①	給水原価	14.3 円	令和2年度に新型コロナウイルス感染症拡大による水道基本料金の減免にあたって、兵庫県営水道受水費の3カ月間の減免193,955千円を受けたため、令和3年度は前年比で大きく増加しています。
②	供給単価	19.5 円	令和2年度に新型コロナウイルス感染症拡大による水道基本料金の減免(445,336千円)を実施したため、令和3年度は前年比で増加しています。